

1

特集 糖尿病のチーム医療からトータルケアへ

チーム医療を成功に導くための TeamSTEPPS

海渡 健

東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全推進室, 同 中央検査部

糖尿病管理の目的は、合併症を抑制し患者のADLを維持することであり、そのためには医師、看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、患者本人・家族がチームになって取り組む必要がある。目的や進捗状況に関する問題点が共有されていないグループではなく、意味のあるチームにするには、全員が目的、問題点、進捗状況などを共有し、ADL維持・拡大というメンタルモデルを共有し、協働する必要がある。このようなチームを作るには、個々の能力(テクニカルスキル)だけではなく、技術・知識・認識など個人のスキルをチームが共有し、協働する能力(ノンテクニカルスキル)が重要で¹⁾、そのためには、相手を思いやるアサーティブな環境、確実なコミュニケーション、患者中心のチームを意識したチームワークなどを意識することが必要となる。TeamSTEPPSは、米国で作成されたチームワークを高め安全で質の高い医療を提供する患者安全推進策で、医療事故の多くに関係するチームワーク不良を防止する方法がまとめられたノンテクニカルスキル改善策である²⁾。その意味や内容を理解し、自分の施設の現状にアレンジして活用することで安全で質の高い医療の提供が可能となる。

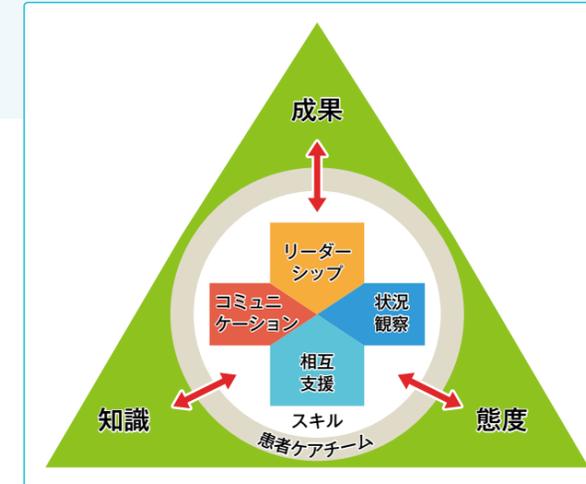


図1 TeamSTEPPSで示されているロゴ(文献2改変)

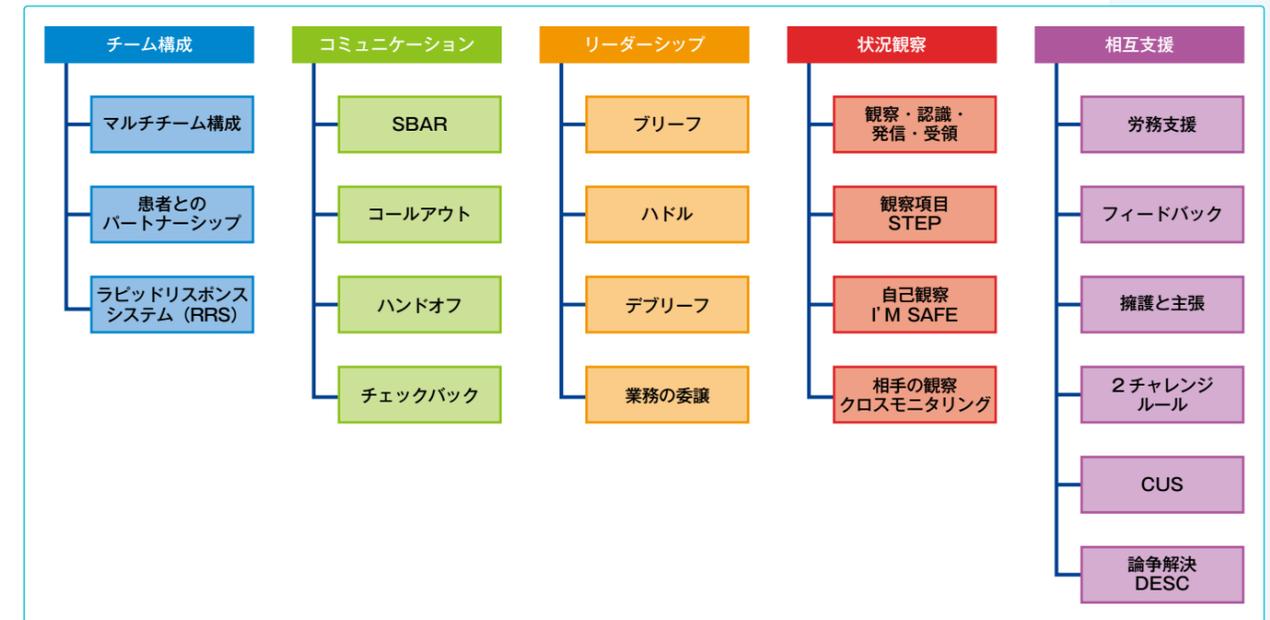


図2 TeamSTEPPSでまとめられている、チーム構成の重要性と4つのコアスキルを高めるための方法

TeamSTEPPS : チームステップスとは

医療事故原因を解析すると、その多くにチームワーク不良が関与していたため、チームワークを改善することが患者安全の向上につながることを考えられた。そこで、チームワークを向上させることで事故頻度が減少した米軍の航空機事故対策を参考に、医療現場でのチームワーク向上を図った結果、術後の感染症発生率や薬剤副作用発生率などが減少した。患者安全とチームワークに密接な関係があることが証明されたため、防総省と AHRQ が中心になって、医療の結果 (performance) や患者安全 (patient safety) を高める (enhance) ため、チーム (team) で取り組むべき戦略 (strategy) と手法 (tool) が、チームワーク

を高める医療の質や安全性を向上させる組織で取り組むチームプログラム TeamSTEPPS (Team Strategies to Enhance Performance and Patient Safety) として作成され、現在は TeamSTEPP 2.0 とバージョンアップされている。

TeamSTEPPSで表示される三角形のロゴ (図1) は、コアスキルが活用できるようになると、状況や問題点、各自の役割と責任などについての知識、積極的取り組みや相互の信頼性、チームとしての方向性など決定する態度、さらに、適応性、正確性、生産性、効率性、安全性などについての成果がよくなり、その結果、さらにチームワークがよくなることを示したものである。TeamSTEPPSには、医療を行うチーム構成についての解説や、チームワークを構成するコアスキルとしてコミュニケーション、リーダーシップ、状況観察、相互支援の4つを挙げ、それぞれのスキル

を高める戦略・方法がまとめられている (図2)。糖尿病ケアに特化したものではないが、より効果的なチーム医療を行うために、糖尿病治療に携わるすべての職種が認識すべき考えである。

以下、慈恵医大附属病院で活用している TeamSTEPPS の概略を説明するが^{3,4)}、あくまでもひとつの考えとして、自分の医療機関の特徴、自分の職種などに当てはめて理解していただきたい。

チーム構成とチームワークを良好にするコアスキル

① チーム構成 (Team Structure)

TeamSTEPPSでは、チーム構成を4段階のピラミッド構造をもった三角形にたとえた multi team system が強調されている。チームのトップには患者が位置しているように、患者、あるいは家族の参加なくして医療の安全性